



編集後記

2011年3月11日（金）午後2時46分の震度6弱という未曾有の地震の発生から約6ヶ月が経過しました。震災直後の状況は、さながら野戦病院のような様相で徐々に落ち着きが見られた矢先の4月7日（木）23時54分、震度5弱の大規模な余震が発生しました。

その後も余震は続いています。岡村院長が「これは記録に残し、今後の教訓とすべきである。」との一声から、病院の復旧・復興に献身的に努力していただいた各職場の方々から課題と反省点について寄稿していただき、記録集を作成することになりました。

現在の病院は、本院・健診センターについては、ほぼ震災前の状況に戻り、通常の診療・健診を行っておりますが、分院につきましては、外来は縮小し、入院も一部の病棟で再開しました。しかし、メインの中央病棟が未だに使用不能で、今後の調査結果等を踏まえて、東北公済病院全体としての方向性を検討することとしております。

終わりに、連合会本部をはじめ、全国のKKR施設・宮城県・仙台市その他からの暖かいご支援をいただいたことに重ねてお礼申し上げます。

文責 雲然 正之

編集委員長	雲然 正之							
編集委員	黒澤 涉	金子 幸司						
防災部会委員	雲然 正之	小針 瑞男	佐々木広子	犬飼つや子	結城ひとみ	尾形 良子		
	館田 要樹	秋保 信彦	長田 悟	安田 耕一	和泉とし江	佐藤 康宏		
	高橋 敏宏							
防災部会オブザーバー	黒澤 涉	熊谷 恒子	安藤美佳子	葛巻由美子	松田 千春			